

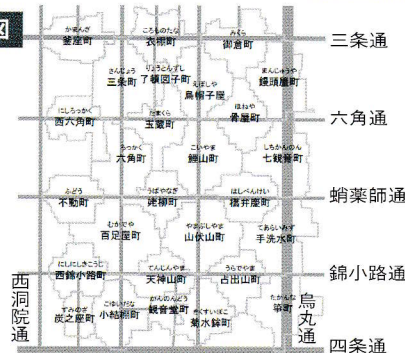
明倫自治連合会

祇園祭のまちとして、山・鉾を出す町内が13ヶ町ある。呉服・繊維業がさかんで和装の商いが中心だったが、かつては町家が軒を並べた室町通もビル街となっていた。近年は大規模なマンションが増加し、人口が増えている。飲食店や宿泊施設も増えており、観光客が行き交うようになった。和と洋、新と旧、商いと暮らしが共存したまちとなっている。

京都市内での位置



全体図



Webサイト

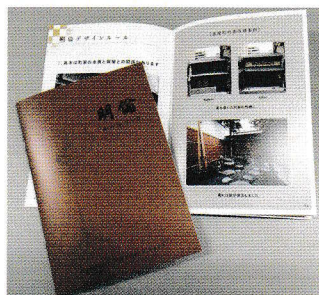
明倫自治連合会
http://www.meirin-news.com



協議会概要

沿革

- 平成12年 まちづくり部会発足
- 平成14年 まちづくり委員会として明倫自治連合会の一部会となる
- 平成15年 地区計画づくりスタート
- 平成16年 地区計画のための意義とスケジュールの作成
- 平成18年 京都市に地区計画の方針の要望書提出
- 平成19年 明倫学区「まちづくりの目標と方針」決定
- 平成21年 明倫地区整備計画スタート
- 平成25年 景観デザイン協議会設立準備
- 平成26年 景観協議会設立申請認定
- 平成27年 明倫学区景観協議会発足(6月1日)
- 平成29年 明倫ルールブック作成、町内全戸配布

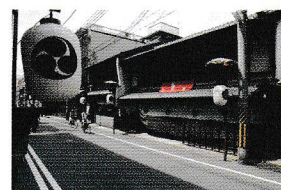


明倫ルールブック

明倫学区にふさわしい景観

町家も近代建築も調和する町並みへ

1. 祇園祭を受け継ぐ風格のあるまちであるために
ハレの日に幔幕や提灯など、祭にふさわしいしつらえをお願いします。



祇園祭のしつらえ

2. 商いと暮らしが響き合うまちであるために

- ① 周囲と調和し、景観に配慮した計画を推進しています。
 - ・ 町家を中心とした町並みにあうような落ち着いたものに：外観の色彩、材質、質感
 - ・ かつての整然とした町並みのような壁面、軒の連続性



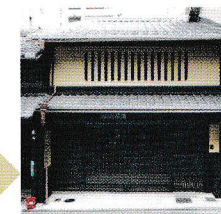
- ② 暮らしのルールを守っていただくようにお願いします。
 - ・ 駐輪場や駐車スペースの設置と景観にふさわしい整備
 - ・ 排気ダクト、室外機の目隠し

協議会の活動

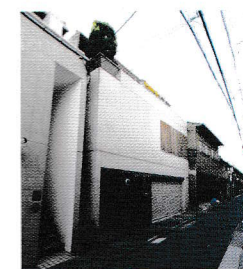
望ましい改修事例

町家の本質、隣接関係をそこなわない改修

町家本来のシンプルな外観に。庭先がよみがえり、緑と光あふれる豊かな内部空間を取り戻しました。



すっきりした現代建築



縦格子のイメージ、壁面の連続を意識。シンプルな外観で町並みに調和し、木部が表れていることにより、落ち着いた雰囲気。

町並みの連続性



門扉により連続性をもたせました。

協議会を経た改修事例

ホテルの外観

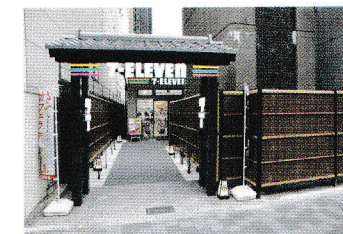


お祭にふさわしい外観を要望したところ、様々な工夫をしていただきました。



コンビニエンスストア

路地を通っていく形式。明倫学区にふさわしい外壁やアプローチをお願いしたところ、落ち着いた店舗になりました。



課題

学区内ではホテルが急増しており、京都市指定文化財の一部保存や、登録文化財の解体などにより、中高層ホテルの建て替え計画も浮上しています。ホテルの建設により、周辺環境が圧迫され、騒音や火事の心配も増えてきました。地域住民以外の不特定多数が昼夜問わず流入すること、リネン車やタクシーなどの増加と路上駐車により通行が妨げられることなど、地域住民の居住環境に大きな変化をもたらしています。

町並みはもちろん、生活への配慮も含めて、以下のことを事業主には要望しています。

- ・ ガラス窓はすりガラス、開閉ができないようにするなど、近隣の生活に配慮したものとする
- ・ 通りに面した窓には障子を設けること
- ・ サービス車両、送迎車両の駐車スペースを敷地内に設けること。
- ・ 祇園祭にはふさわしいしつらえができるようにすること

今後の取り組み

ルールブック細則版

京都市の条例以上に厳しい細則を徹底し、実行力のある制度にすることを目標に、周知、広報するため、より具体的な細則や条件を明倫ルールに加えることを検討しています。

まちあるきの実施

地域住民の意識を高めるために、まちあるきや聞き語りなどのプログラムを企画しています。